

【単元目標】 A(1)(2) 30までの数について、数え方、構成、表し方、読み方などを理解するとともに、簡単な2位数と1位数の加法、減法の計算をすることができる。

【単元がつながる内容】

1年 3つのかずのけいさん
1年 大きなかず

【単元に関わる既習内容】

1年 <ひきざん, 大きな数>
・1から10の数の唱え方, 数え方, 表し方, 読み方
・1から10の数の大小比較
・0から10の数の順序, 系列
<あわせていくつ ふえるといくつ>
・和が10以下の加法の計算
<のこりはいくつ ちがいはいくつ>
・10以下の数から1位数をひく減法の計算

【児童の実態】

○繰り上がりや繰り下がりのない計算は、時間はかかっても正しくできる。
○根拠を示しながら話そうとする姿が見られる。
●数字は読めるが、指やブロックと対比することに戸惑う児童が数名いる。
●自分で問題を考えたり選んだりするのは好きだが、関連が意識できないことがある。

12+3, 15-3のような計算を習得する授業

⑦ たしざん

10+6, 12+3のような加法の計算の仕方を考える活動を通して、10のまとまりとばらにわけて考えればよいことに気づき、正しく計算することができる。【考】
10のまとまりとばらに分けて、たし算をすればいいのだね。

⑧ ひきざん

16-6, 15-3のような減法の計算の仕方を考える活動を通して、減法も加法と同様に考えればよいことに気づき、正しく計算することができる。【考】
たし算と同じように10のまとまりとばらに分けて、ひき算をすればいいのだね。

⑨ たしかめもんだい

数の構成や系列を理解するとともに、具体物の数を数えたり、簡単な2位数と1位数の加法、減法の計算をしたりすることができる。【知】

【単元後の児童の意識】

10よりおおきいかずは、10のまとまりがいくつ、1のばらがいくつと考えると、数えたり計算したりすると正確にできる。もっと大きい数も同じようにやればできるのかな。

数直線から数の大小比較をする授業

⑤ かずのせん

数を線に表す活動を通して、数の線では右に進むほど数が大きくなることに気づき、20までの数の大小比較をすることができる。【知】
数の線は0から始まり、右に行くほど数が大きい。目盛りはどこも同じ幅で、0から数えなくてもいくつかがすぐ分かるよ。

⑥ 20よりおおきいかず(本時)

20より少し大きい数を表す活動を通して、20までの数の表し方をもとに10のまとまりのいくつ分とあといくつで表せばよいことに気づき、正しく表すことができる。【考】
20より大きい数でも10のまとまりがいくつ、1のばらがいくつをもとにして考えればいいのだね。

10のまとまりと1のばらがいくつと考える授業

① 20までのかず 1

20までの物の数を数える活動を通して、正確に数えるには10のまとまりを作るとよいことに気づき、11~20までの数を正しく数えることができる。【考】
10のまとまりを数えて線で囲み、あといくつかを数えれば、正しく数えられるよ。

② 20までのかず 2

10のまとまりを作る活動を通して、10とあといくつかを数えて、正しく数を表したり読んだりすることができる。【主】
10のまとまりとあといくつかを考えて、数字で正しく書くことができたよ。

③ 20までのかず 3

20までの物を2ずつや5ずつ、10ずつまとめて数える活動を通して、そのよきに気づき、まとめて数えることができる。【主】
10ずつまとめると、正しく数えられるよ。2ずつや5ずつまとめて数えるともっと速い。自分の身の周りのものも数えたいな。

④ 20までのかず 4

数字カードを並べる活動を通して、20までの数の構成、順序、系列の理解を深めることができる。【知】
数は10といくつで表すことができるよ。20までの数の順番や、増える並び方と減る並び方もわかったよ。

◆本時のねらい 20より少し大きい数を数える活動を通して、20までの数の表し方をもとに10のまとまりのいくつかとあといくつで表せばよいことに気付き、正しく表すことができる。

◆本時の展開 (6/9)

	学習活動と児童の姿	指導上の留意点
つかむ	1 問題提示(1) (P80 問題 10) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">いくつありますか。(卵・シールの数)(10でまとめている)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・卵・・・10のまとまりが2つで20、ばらが3、合わせて23。 ・シール・・・10のまとまりが3つで30。 	◇研究内容 1:「10のまとまり」をキーワードとして表すことを意識付けるために、板書に示す。 ○数字の表し方を確認する。
	2 問題提示(2)(P80 鉛筆問題8) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">いくつありますか。(カスタンネット・ブロックの数)(すべてばら)</div>	○鉛筆問題8では、10ずつ囲んでいるかを確認し、意図的指名をして児童の気付きを促す。
考える	3 課題づくり <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">20よりおおきいかずをかぞえよう。</div>	◇研究内容2:ペア交流の指導 ・話し手は、自分の考えを相手に伝わるようにタブレットを見せながら話す。
	4 個人追究:タブレットで配布した資料に記入し、提出箱に入れる <ul style="list-style-type: none"> ・カスタンネット・・・10のまとまり2、ばら6、あわせて26 ・ブロック・・・10のまとまり3、ぜんぶで30 	◇研究内容 2:全体交流 ・「10がいくつでばらがいくつ」という捉え方を定着させるために、話型を示して繰り返し唱えさせる。
深める	5 ペア交流(①②を1問1人ずつ) <ul style="list-style-type: none"> ・自分のタブレットを見せ、指で示しながら交流する。 <p>「10のまとまりが2つあるので20です。ばらが6あります。あわせて26です。」</p>	
	6 全体で確認 <ul style="list-style-type: none"> ・「10のまとまり」という言葉を使ったか、確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><深めの発問>人によって囲み方が違うけど、同じ数になったね。どうしてだろう。(同じところは何か)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな「10のまとまり」で囲んでいる。 ・20より大きくても、「10のまとまり」を使うと正しく答えれる。 	評価規準 20より少し大きい数を10とあといくつと捉えて、数字で表す。【思考・判断・表現】
まとめる	7 まとめ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">20よりおおきいかずも10のまとまりにするとかぞえやすい。</div>	☆10のまとまりとばらがいくつと考えるよさに気付く。(自己啓発力)
	8 評価問題(P81 問題11) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">なんえんですか。①15円 ②16円 ③32円</div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の作った組み合わせをロイロノートで提出し、友達のものと比較する。違う組み合わせを考えて、類型化する。 	○お金の組み合わせで何通りか作れることや、5円玉や10円玉を使うと数えやすいことに気付かせる。
	9 練習問題(P81 10) 28えんをつくりましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな作り方をプリントに書き、写真を撮って送る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><タブレットを使った宿題> <ul style="list-style-type: none"> ・練習問題 P81 9 カレンダーのすうじをよみましょう。 カレンダーの数字を「前から」「後ろから」読むことを録音して送る。 </div>	○正しく読めているかを一人ずつ確認する。 ○数の系列や読み方の規則性を確認する。